

■高校生

1 おいしい実がなる （ありたいまちとこどもの姿）	2 大切に木を育てる			その他
	こどもの居場所	こどもの遊び・学び・体験	こども視点のまちづくり	
・自分のことは自分で決める。 ・自分の想いが実現できる。 ・自分のやりたいことを大人から邪魔されない。 ・自分らしくいられる。	・様々な人と出会え話することができる。 （友だちからは得られない学びがある） ・他校の人たちと出会える。 ・大人数でも一緒に居ることができる。 （イオン等だと好ましく思われていない気がする） ・一人でゆっくり居ることができる。 （一人で居たいときも気兼ねなく居られる） ・ホッとできる。 ・興味関心が同じ人たちとつながりたい。 ・気軽に運動ができる。 ・無料で居ることができる。 （お店なら飲み物など買わなければならない） ・安心して悩みを相談できる。 （チャッピーは自分の悩みを口外しない）	・やりたいことができる。 ・興味関心のあることに、もっとチャレンジしたい。 ・大人の意見で断念しない。大人はダメと言わない。 ・自分たちでバザーをするのは楽しそう。やってみたい。	・自分の意見を言えることは大切。 言わないと伝わらない。	

■中学生

1 おいしい実がなる (ありたいまちとこどもの姿)	2 大切に木を育てる			その他
	こどもの居場所	こどもの遊び・学び・体験	こども視点のまちづくり	
・安心して意見を言える環境や地域社会である。	・ 気を遣わずに自分らしくいられる場があると良い。 ・ 居場所は入りやすいことが大切。 (グループができていない、静かすぎない、 笑顔で迎え入れてくれる、オープンな雰囲気) ・ 静かに勉強したい時もあるが、うるさくなくても 良いところも欲しい。 ・ 友だちと勉強を教え合えると良い。図書館は静かに しないといけないので教え合えない。 ・ 相談しやすい人がいると良い。 ・ 悩みの内容に長けている人や秘密を守ってくれる人が いると相談しやすい。	・ 共通の趣味の大人に出会え、色々と教えてもらいたい。 ・ 他の学校の人と交流がしたい。 ・ フリーマーケットを開催したい。 ・ 和田山地蔵まつりを復活してほしい。 ・ 和田山地蔵まつりで出店したい。 ・ どのようなボランティアに参加できるかわからない。 こども園のボランティアに参加したい。 ・ ものづくりが好きなので、教えてもらいながら 自由にものづくりができる場があったら良い。	・ 大人がルールを作らないでほしい。自分たちでがルールを 考えたい。 ・ 場の空気を乱さないように、浮いてしまわないように 話すときに気を使っている。気を遣わずに自分の意見を 話せることが大事。 ・ ユースカウンスルのような場があれば参加したい。 こどもの意見を言わないと伝わらないから。 ・ ユースカウンスルは同じ世代の人や同じ学校の人たちと できると共感してもらいやすく、発言しやすそう。 【学校】 ・ 校則を変えたい。 自分たちのルールは自分たちで作りたい。	・ 校舎に網戸がないから 虫が入ってくる。 網戸をつけてほしい。 ・ 学校近くの歩行者用 信号の青の時間が 短い。
・ 知的好奇心はすべての扉になる。 ・ 自分らしくいられること。 ・ 自分の気持ちを伝えることが大切。 ・ 困ったら頼ってもいいんだと思える。	・ 他校や大人の人と交流ができる場所。 ・ 自分一人では解決できないことを相談して聞いてもらえる 人がいる。 ・ 安心して居ることができる。 ・ 趣味などでつながりたい人がつながれる。 大人など長けている人にもつながれる。 ・ 学校帰りに直接行くことができる。 (今は一旦帰宅してから行かなければならない) ・ 勉強をしたり相談相手がいたりして気軽に立ち寄ることが できる。 ・ こどもだけで集まれる場所が良い。 ・ こども食堂のような行けば友だちや大人など誰かに 出会える場所があると相談もしやすい。 ・ 困っているときに安心して相談できる人がいる。 ・ 秘密が守られ親や先生以外で相談できる人がいる。 (AIは肯定ばかりで偏りがあるのではと不安) ・ 学校や親に言わずに相談できる場所や人がいる。	・ 気軽に様々なスポーツや文化的なことができる。 (部活動にいきなり入部はハードルが高い) ・ 今までにしたことのない新しい体験ができる。 ・ 自分の知らないことや興味を持ったことを知ることが できるような機会が欲しい。 ・ 自分と同じことを学びたいと思っている人と交流できる。 ・ 友だちと遊べる場所が欲しい。 ・ 自由に運動ができるスペースが欲しい。	・ 自分の意見を安心して言える環境がある。 ・ 月1回程度は「こどもあさご未来会議」のような意見が 言えたり交流できる場があると良い。 ・ 定期的に無記名でアンケートがあれば、自分の意見を 伝えやすい。	・ 通学路に防犯灯がなく 暗い。

1 おいしい実がなる (ありたいまちとこどもの姿)	2 大切に木を育てる			その他
	こどもの居場所	こどもの遊び・学び・体験	こども視点のまちづくり	
・一人一人がのびのび過ごせる環境は大事。 ・安心して思いっきり遊ぶことができるは大事。 ・好きなことが制約なくできる、好きなようにできることが大事 ・やりたいことにチャレンジできることは共感。	・部活がなくなった後の放課後の居場所。色々な人と話せる。 ・学校の近くに寄れる場があれば利用したい。(家が遠く、一旦下校してからだと行けない。) ・こどもだけの居場所がほしい。(ゾーンング) ・みんなで遊べる施設がほしい。色々な遊びをみんなでやりたい。 ・今は小学校かイオンに集まっている。 ・サードプレイス。 ・山東支所は良い。自習できる。勉強を教えてもらえる。 ・話し相手がいる方が良い。友達と話せるのが良い。 ・生物仲間で集まれると良い。 ・学びたいことについて、図書館にも限界がある。詳しい大人に聞きたい。(生物学など) ・興味に応じて学びたいことを学べる場があると良い。 ・共通の趣味で集まれる場所があったら良い。(年齢問わず) ・イオンしかないので普段は電車で市外におでかけすることが多い。 ・楽器を演奏できる場所があれば良いな。 ・楽器やりたいけど楽器が高くて買えない。 ・楽器を自由に練習したい。 ・いつでも自由に遊べる場。 ・相談がしやすい環境が良い。 ・友だちと話すときは空気を読むことも。 ・友だちに話せることと話せないことに分かれる。だから、友だちと話せないことを話せる大人に出会いたい。	・興味関心のある分野の詳しい人に話を聞いてみたい。出会う場がない。もっと関心が広がる。 ・興味・関心がある分野は同じ関心の人と話したい、つながりたい。 ・「体験やってみる」機会がないから自分が何がしたいか、何が得意かわからない。体験できる場が少なくて自分のやりたいことがわからない。なので、気軽に色々試せる場があれば良い。 ・色々な種類の習い事があれば参加したい。(ボクシング等) ・地域や住んでいる場所によってできることに違いがある ・「危ない！」って言わないで欲しい。(学校の決まり)危ないことが楽しい。 ・危険も体験しないとわからない。 ・「自然で遊ぶな、危ない」と言われても遊ぶところがない。 ・危険な体験をして危険だと分かる学ぶことも大事。 ・危機管理は自分でできる。こども扱いしないでほしい。 ・ひとりで川・山に行けない。「危ない」って言わないで。 ・生き物を捕っていることを大人は注意しないでほしい。 ・自由にスポーツできる場所が欲しい。 ・自由に運動ができる居場所が欲しい。 ・部活以外でスポーツして良いところが欲しい。テニスコートが少ない、練習できるところがない。 ・体育館を借りて練習してるが、使用申請や費用がかかる。 ・周りの人に文句などを言われずスポーツできる場が欲しい。 ・水曜日、日曜日以外は部活があり忙しい。	・「こどもあさご未来会議」のような対話の場があったら参加したい。時間が足りない。 ・気軽に参加できる方が良い。「こども未来会議」のような場が良い。 ・こどもの活動の場に大人が参加することで、こどもが参加しづらくなった。こどもだけの場も大切。 ・合わない大人や指導者もいる。選べると良い。 ・相談がしやすい環境が大切。 ・「危ない」「危険」は管理責任等の大人の都合でしかない。 ・最寄りのバス停がなくなっちゃった。あさGOの使い方がわからない。 ・電車の本数を増やしてほしい。 【学校】 ・学校帰りに寄り道してはいけないルールだが、帰りに寄り道できると良い。移動できる交通手段がないと、一度帰ると遠いので行きづらい。 ・こどもたちだけでゲーセンetc行っではいけないなど、学校のルールは気にしていない。無視してやっている。 ・ルールを破らなくても色々なことが出来るようになりたい。 ・先生がうるさい。自分がしたいことができない。ケガはつきもの。 ・学校で先生がうるさい。もっと自由にさせてほしい。 ・学校に自分たちの意見を言ってもムダと思ってしまう。言っても無駄という空気がある。 ・「生徒会」ってなんだ。自分たちでやりたいことをやろうと生徒会に入ったのに、やりたいことができていない。 ・体育祭や文化祭を盛り上げるようにしたい。 ・学校のルールを変えたいが、生徒手帳がないのでルールが分からない。 ・ルールを変えたいけど変えられない。時間がない。(文化祭や体育祭準備などで日々忙しくて手が回らない)	

■小学生高学年

1 おいしい実がなる (ありたいまちとこどもの姿)	2 大切に木を育てる			その他
	こどもの居場所	こどもの遊び・学び・体験	こども視点のまちづくり	
・叶ったらこどもがいっぱい遊べる。 ・できることは叶えてほしい。 ・今日話したことをみんなでチャレンジしたい。	・同じ趣味の人や気の合う人と出会える場があると嬉しい。 ・違う学年でも大人でも小さい子も同じ趣味のサークル（スポーツ、歴史等）があると良い。 ・普段は友だち同士では室内で過ごすことが多い。（水曜日は、山東庁舎、自治協、マインホール、生野駅など行けば誰かいる） ・こどもだけで過ごせる場所があったら良い。 ・雨の日は家で遊んでる。友だちと過ごせる場があると良い。 ・雨の日でも室内で遊べる場所が欲しい。 ・何をしても良い自由スペースがあると良い。 ・公共施設で空いている時間などに使えると良い。 ・大きい声を出せる場所があれば良い。ストレス発散に。	・自分たちでお店をつくってやるのは楽しそう。 ・生き物のために海や川のゴミ拾いのボランティアをしたい。 ・絶滅しそうな生き物（花、虫）を保護したい。 ・捕まえた生き物を育てる場所がない。 ・誰でも山に入れるようになれば良い。（虫捕りや工作などをしたい） ・自然を増やしたい。山は遊べるようになっていない。 ・魚のつかみどりをしたい。焼いて食べたい。 ・川遊びがしたいが、円山川は大きく遊べない。（家の近くに川遊びできる川がない） ・田んぼでどろんこ遊びをしたい。夏は気持ち良い。 ・自然のものでみんなで食べ物を作って食べたい。 ・野菜や花の農園をのクラブを作ってこどもや大人と一緒にみんなで作ったり売ったりしたい。 ・農業でつくったものを売ってみんなのために使いたい。 ・和田山駅前の空き地で遊びたい。近くに遊べる公園がない。 ・普段に見れないところを見学できるイベントがあると良い。 ・博物館や美術館が欲しい。知らないことを知りたい。 ・市内・県内の博物館等に行けるチケットがほしい。 ・本が高いので、本やおもちゃなどを地域ので安く売ったり買ったりできるフリーマーケットのようなのをしたい。 ・和田山地蔵まつりの屋台を復活してほしい。 ・中学校で部活なくなるので部活を復活してほしい。 ・学校でいろいろな体験ができて楽しい。 ・宿題が多すぎる（特に土日曜日）。もっと自由に遊べる時間が欲しい。 ・みんな忙しく、友だち同士で予定を合わせるのが難しく、土日曜日は家で過ごしている。	・未来のことを考えるクラブをつくる。 ・こどもでみんなで遊べる場所、みんなに関わることをみんなで話し合いたい。 ・いじめをなくしたい。 ・友だち同士で人権の話をしたい。 ・図書館の本をリクエストできる場。欲しい本がない ・図書館に人気の本が少ない。赤ちゃんの本が少ない。面白い本や新しいマンガを置いてほしい。 ・イオンの本屋さんがなくなった。本屋さんがほしい ・地震や山火事で逃げられる場所等を知りたい。（シェルター、竹やぶ、消火器等） 【学校のこと】 ・小学校のクラブ活動の時間数が少ない。 ・小学校のクラブ活動を自分たちで決めて作った。（生野小学校） ・学校の遊具を増やしてほしい。 　ボール等を上級生が先にとって下級生は遊べない。 ・放課後に体育館が自由に使えない。自由に使って遊びたい。 ・学校の卓球台を決められた日以外や休み時間も使いたい。 ・修学旅行もっと遠くへ行きたい。近畿圏外など家庭でなかなか行けないところに行きたい。 ・一斉下校で喋っちゃダメというルールがある。 　もっと楽しく登下校がしたい。	

■小学生低学年

1 おいしい実がなる (ありたいまちとこどもの姿)	2 大切に木を育てる			その他
	こどもの居場所	こどもの遊び・学び・体験	こども視点のまちづくり	
		・体を動かして遊べる場所 大きなすべり台、広い芝生、 大きな遊具（すべり台、ブランコ）、スポーツ（運動場、体育館、プール等）等 ・自然の中で自由に遊べる場所 生き物がいる川、花壇、動物とのふれあい、秘密基地、ツリーハウス等 ・ほっとできる、ゆっくりできる 図書館、温泉、足湯等 ・友だちと、お年寄りと、動物と一緒に。		

■子育て当事者

1 おいしい実がなる (ありたいまちとこどもの姿)	2 大切に木を育てる			その他
	こどもの居場所	こどもの遊び・学び・体験	こども視点のまちづくり	
・誰でもどこに住んでいても実現できている。	・こどもの家が離れていてこども同士が集まる手段がない。 家に帰ると1人で遊びに行けない。 ・参加のハードルが低いく、気軽に行くことができる。 ・こどもが安心して居ることが出来る場所。 ・小学生も中学生も高校生も 色んな世代が集まれる。 ・いつでも使える。 (交流サロンふらりはイベントがあると使えない) ・大きくなると疎遠になってしまう。 ・体験したこどもが戻り、スタッフをやる。 ・他の地域へ横展開。 ・与布土みんなの広場は、こどもたちがほしいという意見から週に1回（水曜日）、地域の大人での見守りにより開催している。小学校6年生の意見から始まったが、中学生になっても参加している。	・生野地域だけだとこどもが少なすぎる。 ・市の中でもできる・できないの差がある現状（家の環境などに関わらず） ・こどもの体験や習いごとに地域差がある。 ・都市部と比べて体験・学びが充実している。 ・こどもにどのような体験・学びがあるか伝わるように。 ・こどもが選べるようになれば良い。 ・自然の家などの施設を朝来市の人は使ってる？使えることを知っている？ ・市内の資源活用したこどものツアー等の開催。 ・親の状況に関わらず参加できること。 ・学校・学童から習いごとへのあさGO活用。 ・部活動が学校で出来なくなれば、移動手段として活用。 ・大人自身が遊び方知らない。 ・昔はこどもだけで遊べたが、今は子どもだけで遊べない。 ・学童保育は屋内だけしか遊べない。 ・まちの人も減ったので見守りも少ない。 親は不安なので留守番をさせてしまう。	・こどもがやりたいことを大人・地域が手伝う、支える。 ・企画段階からこどもで。やりがいある。 ・こどもが提案できる（こども視点のまちづくり）。 (与布土地域ではこどもの意見により防犯灯整備につながった)	